

おだか

第13号

2015

平成27年9月14日(月)

南相馬市

小高小学校

学校だより

職場体験学習

小高中学校の2年生5名が、職場体験学習のため9月8日と9日の2日間、本校で実習を行いました。生徒たちは、各学年に入って授業や給食、清掃など一緒に活動しながら教職員の仕事について学習しました。

最後に「授業に参加し、働く先生方を参観した感想」を書いてもらいました。以下にご紹介します。



本校で学習した生徒たち

- 先生方が1年生だからと言ってあまやかしたりせず、厳しく、優しく接していて、とてもいい先生ばかりでした。(R・Yさん)
- できない子に教えてできるようにしてあげるのは大変だけど、できるようにしてあげられたときはうれしかったです。危ないことをしていても注意できなかった時はちょっと自分がいやだったけど、みんな意欲的でかわいかったです。(N・Kさん)
- つまんなように授業を受けている人がいて、少し雰囲気が悪く感じた。でも声をかけてあげるとちゃんと受けてくれたのがとてもうれしかったです。この職業は、めげない、強い心が必要だと思った。(K・Hさん)
- 子どもたち一人一人の性格を理解して接していることがよく分かりました。授業でも一緒に歌ったりゲームをしたりいろいろなことができて楽しかったです。とても短い時間ですが、いい経験と思い出になりました。(L・Wさん)
- みんなで、わらって遊んで勉強していろいろ楽しみました。でも、最後になりみんなと別れるととっても悲しいです。さみしくてしかたありません。ひとつ教師ということを学んだ気がします。(M・Hさん)

小高小の子どもたちにとっても、昼休み、体育館でたくさん遊んでもらったり、授業中いろいろな場面で声をかけてもらったりして、意欲をもらった2日間でした。

交通教室



～シートベルトしてますか～

「秋の交通安全週間」に先駆けて、9日に交通教室を行いました。市生活環境課の交通教育専門員、渡部様、渋谷様のお二人からシートベルトの着用を中心として、さまざまな事故の危険について教えていただきました。

安全への意識を高め「自分の身は、自分で守る」という意識を、常に持ち続けてほしいと思います。

全国学力学習状況調査の結果

全国学力学習状況調査は、6年生を対象として全国的な学力や学習状況をつかみ、分析することで、成果や課題を検証し、指導や学習状況の改善に役立てるものです。

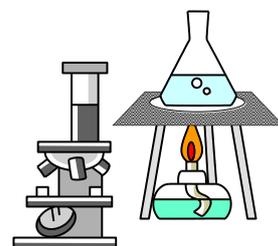
学力調査は、国語・算数・理科の3つの教科の問題を解いて調べ、学習状況調査は87の質問に回答することで調べます。

今回は、学力の状況について、お知らせします。

1 平均正答率で見る学力の状況（実施人数11名）

各教科の正答率を見ると、国語、算数は県平均よりやや下回っています。理科は、県平均を下回る結果となりました。

国語、算数では、A問題（主として知識）とB問題（主として活用）があります。A、Bを比べると、国語ではA問題の方のポイントが低く、算数ではB問題のポイントの方が低い結果でした。



2 観点別に見た課題

国語の問題を観点別に詳しく見ると「読む能力」の正答率が低く、複数の資料を見比べて長文を読み解き、質問の意図にそって回答することが苦手と考えられます。



漢字を読んだり、声に出して読むときの工夫とその理由を書いたりなどの問題は高い正答率でした。

算数の問題を観点別に詳しく見ると「数量や図形についての技能」の正答率が低く、概数を用いて見積もりを出して判断したり、巻き尺を使って合同な三角形を作ったときに 30° の角度になる理由を記述したりすることが苦手と考えられます。増量した商品の内容量と増量した割合から、増量前の量を求める問題は、高い正答率でした。

理科の問題では、顕微鏡の使い方や液体の体積を量る器具「メスシリンダー」の名前を書いたり、正しい測定法を答えたりする基礎的な問題の正答率が低く、知識として定着していないことが分かりました。授業での基礎知識の確認や意識付けなどに努めることで、改善したいと思います。

3 学校における教育指導の充実について

すでに新聞などでご存じの通り、学力は県平均が全国平均を下回る結果になりました。出された問題が学習した内容のすべてではありませんし、子どもたちを取り巻く学習環境も含めて、原因を検討する必要があると考えます。学校では、次のようなことを心に留めて、指導の充実を図りたいと思います。

【国語科】 ●複数教材 ●多読 ●新聞の活用

主述の関係を意識して読み、筆者の意図を読み取る力をつける。

この力を土台として、平行読書や新聞を活用するなどして、批判的に読んだり、多角的に考えたりする活動を授業の中に取り入れていく必要がある。

【算数科】 ●見積もる力 ●学習内容を他と関連づけてより深く理解する

単位となる数をもとに大きさを表したり、がい数を使って数を計算して見積もったりするなど、量感や十進法の仕組みを意識して授業を進める。

【理科】 ●基礎・基本の確認 ●思考するおもしろさを体験させる

実験・観察で使用する機器の基本的名称、扱いを身につけさせることが必要である。電気、磁石、熱の伝導など目に見えないものを、見えるように工夫したり、記録から推測したりする思考活動を重視し、複数の資料を比較して考えを進める体験をさせる必要がある。